

3月17日（土）鍋屋上野浄水場にて 駅ちかウォーキングに参加しました



快晴。風はまだ冷たくても、空の青さはもう春を告げていました。

午前9時半から来場者が現れ、プレゼントの名水缶が1時間半でなくなるという盛況ぶり。「名古屋市民は健康志向なんだなあ」と、次から次に訪れる老若男女に対応しながら、感じ入っていました。

一段落ついたところで休憩を勧められ、遺構を見に行きました。戦時中の空爆の凄まじい弾痕の跡はコンクリートで埋められていましたが、私は数年前の総会時に埋める前の建物の壁を見ています。縦横無尽に走る弾痕の跡に、私は皮膚感覚をもって戦争の無慈悲さ、苛烈さを感じ取りました。あの時、ここに生身の人間が居たのなら持たなかった、と。

戦争の悲惨さは何百冊本を読もうと、何百回映像で眼にしようと、幾人かの体験者の話を耳にしている、この建物の壁が訴える鮮烈さには及びませんでした。「戦争って本当に嫌だねえ」と来場者の方々と思いをかみしめた一日でした。

(E・O)



←多くの皆さまにご参加いただきました。



★ 金鯰水配布の様子→

